

「困ったお声」に寄り添う政策を、町田市で実現

【病後・病児支援】

がん患者へのアピアランスケア助成

がんの治療にともなう外見の変化に起因する悩みを軽減するためのアピアランスケア用品は高額です。精神的負担、身体的負担、経済的負担を抱える当事者の社会復帰を支援するため、アピアラスケア用品購入費助成を訴え、実現しました。

医療的ケア児の保育園受け入れを推進

あるお母さんの2歳の娘さんが「1型糖尿病」と診断されました。

生活習慣が原因の2型とは異なり、血液中の糖分をコントロールするインスリンが体内で分泌できなくなる原因不明の疾患です。幼い娘さんに代わり、お母さんが毎日インスリン注射を打つてあげる必要があったのです。

しかし、母子家庭で働くお母さんが保育園に通い注射をすることは不可能。市に相談するも「医療的ケア児の受け入れは行っていない」との回答でした。市内の保育園を回りましたが、どこも良い反応は得られませんでした。

松葉ひろみは党員を通じて、このお母さんの状況を聞き、即座に対応に動きました。

町田市・子ども生活部に直接働き掛けたほか、議会で「医療的ケア児の受け入れに向けて各保育園を支援してほしい」と提言。そして3ヶ月後、提案が実現し、主治医の協力なども得て、晴れて保育園に入園することができたのです。



詳細は
こちら



この入園事例をもとに医療的ケア児の受け入れの促進が「市子ども発達支援計画（第一期障害児福祉計画）」に盛り込まれ、協議会が立ち上がり、安全な体制の構築に向けたガイドライン策定へと結実。

現在では公立保育園での入園枠が設けられるようになりました。

【防災】

避難行動計画「マイ・タイムライン」作成の周知と啓発

防災士として、災害時の避難行動計画「マイ・タイムライン」作成の周知と啓発の取り組みを進めました。女性視点の防災ブック「東京くらし防災」の配布も推進。災害時に身につけることで、支援を受けやすくなる「災害時障がい者支援バンダナ」の配布も実現しました。

耳で聴くハザードマップ

災害時に役立つハザードマップの情報は、視覚障がいのある方には届きません。

そこで耳で聴くハザードマップの必要性を訴え、導入を推進しました。

